棚橋恭子室内楽シリーズ 15周年

至福のシューベルティアーデ

100席だけのスペシャルコンサート



わたしが愛を
歌おうとすると
それは悲しみになった。
悲しみを
歌おうとすると
それは愛になった。
— フランツ・シューベルト



1st Violin
佐久間 聡一



2nd Violin
甲斐 摩耶



1st Cello
奥泉 貴圭



2nd Cello
熊澤 雅樹



Viola
棚橋 恭子

本公演 **2027.3.21 SUN**

15:00開演
14:30開場

会場
鳥取バプテスト教会
鳥取市東町3-151　駐車場20台程度

前日公開リハーサル

3.20 SAT 14:00〜

本公演チケットご購入の方は無料ご招待
（本公演チケットをご持参ください）

PROGRAM

シューベルト
弦楽四重奏曲 第13番 イ短調 作品29, D 804『ロザムンデ』
弦楽五重奏曲 ハ長調 D 956

料金　一般 前売 **4,000**円　高校生以下 前売 **1,000**円　全席自由／当日券+500円

本公演：未就学児入場不可（公開リハーサルのみ未就学児入場可）

プレイガイド　とりぎん文化会館／エースパック未来中心／アルテプラザ／WEBチケとっとり／鳥取バプテスト教会

お問い合わせ　tottorinooto@gmail.com

WEBチケとっとり

主催：WORLD MUSIC FRIENDS　特別共催：（公財）鳥取県文化振興財団
助成：ビトゥイーン・ミュージック・タイズ　後援：鳥取市に音楽小ホールを願う音楽家の会

PROFILE

棚橋恭子室内楽シリーズ 15周年『至福のシューベルティアーデ』



佐久間 聡一 1st Violin

幼少よりヴァイオリンを始め、桐朋学園卒業、その後ドイツでも学んだ。高校時代より、日本青少年オーケストラコンサートマスター、大学時に桐朋学園オーケストラコンサートマスターとして活躍。その後、新日本フィルの契約団員、大阪フィル首席奏者、ドイツ・カンマーフィルハーモニー・ブレーメン客演奏者、広島交響楽団第1コンサートマスターをつとめた。現在は、ソリスト、室内楽奏者として多彩な活動で活躍の幅を広げている。「魅力的な音色で聴衆を一つにする力がある」（音楽の友）など誌上でも注目を浴びている。録音多数。「昴21弦楽四重奏団」「弦楽トリオAXIS」「ピアノトリオMIYABI」「石田組」「デュオでゆお」のメンバーとしても活動中。YouTubeチャンネルは愛好家にも好評で登録者約2万人。洗足学園音楽大学の非常勤講師。



甲斐 摩耶 2nd Violin

東京藝術大学音楽学部付属音楽高校、東京藝術大学、同大学院修了。シュポア国際ヴァイオリンコンクール第2位、ストラディヴァリウスコンクール第2位。これまでに、芸大フィルハーモニア、南西ドイツフィルハーモニー、トルコ国立チクロヴァ交響団、N響室内合奏団、東京シティフィルハーモニック、東京都交響楽団、広島交響楽団と共演。ニュルンベルグ音楽大学にてゲーデ氏のアシスタントを勤める。ダルムシュタット州立歌劇場、ベートヴェン・オーケストラ・ボンのコンサートマスターを歴任。帰国後はオーケストラのゲスト・コンサートマスターや室内楽公演など全国各地で活動中。また東京藝術大学にて室内楽科の非常勤講師として後進の指導にもあたった。現在、エリザベト音楽大学准教授。



棚橋 恭子 Viola

鳥取市出身。愛知県立芸術大学音楽学部卒業。在学中より小澤征爾音楽塾オペラ・オーケストラプロジェクト、若い人のための室内楽勉強会参加。2008年より鳥取市にてヴァイオリンとヴィオラの音楽教室を主宰。2010年、第一回鳥取県クラシック・アーティストオーディションにて優秀賞受賞。2011年より国内外から日本を代表する演奏家を鳥取に招聘し、様々な編成の室内楽コンサートを企画・開催するなど、地元鳥取県の文化振興に力を入れている。2016年〜2017年ドイツ・ケルンにて村上淳一郎氏のもと研鑽を積む。2020年『鳥取市に音楽小ホールを願う音楽家の会』を結成。鳥取市への要望書提出などで音楽小ホールの必要性を訴え続けている。2023年、令和5年度鳥取県文化奨励賞受賞。
鳥取チェンバーオーケストラ、ヴィオラ四重奏Alto de Campagne、オイゼビウス弦楽四重奏団等メンバー。鳥取市に音楽小ホールを願う会代表。WORLD MUSIC FRIENDS代表。



熊澤 雅樹 2nd Cello

桐朋学園大学アンサンブル・ディプロマ修了。トロッシンゲン音楽大学卒業。これまでにチェロを鈴木敏幸、文屋治実、毛利伯郎、原田禎夫の各氏に、室内楽を徳永二男、山崎伸子、店村眞積各氏に師事。第2回東京室内楽コンクール第1位。これまでに倉敷音楽祭、宮崎国際音楽祭、小澤征爾音楽塾、サイトウ・キネン・オーケストラ、東京春音楽祭、水戸室内管弦楽団などに参加。2010年9月より広島交響楽団チェロ奏者。室内楽ではアンサンブル・プレギエラ、広島室内楽協会、アンサンブル響、カムパネルラ・アンサンブル、オイゼビウス弦楽四重奏団、広島4Cellos等を主宰し地域に根差した音楽活動を展開している。またトリオクロス、フランツ弦楽四重奏団、さくらぴあ弦楽四重奏団各メンバー。エリザベト音楽大学講師。



奥泉 貴圭 1st Cello

札幌出身。東京芸術大学附属音楽高等学校を卒業後、ドイツ・トロッシンゲン音楽大学を経て、2007年より3年間バイエルン国立歌劇場の契約団員として研鑽を積む。1998年札幌ジュニアチェロコンクール優秀賞、2004年ビバホールチェロコンクール2位、2006年度文化庁在外研修員。その他、国内外のコンクールで入賞。帰国後、2016年まで上野学園大学講師を歴任。小澤征爾スイス・インターナショナルアカデミー、小澤征爾音楽塾オーケストラ、サイトウキネン室内楽勉強会、水戸室内管弦楽団、紀尾井シンフォニエッタ、東京春音楽祭、石田組、高嶋ちさ子 with Super Cellists、めざましクラシックスなどに参加。現在はソロ、室内楽、レコーディング、TV出演、ライブサポート、トリオAXIS（弦楽三重奏）、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席客演チェロとして活動。



オイゼビウス弦楽四重奏団